

山名：観音山～天拝山～お守りと仏のお遣い？～

【報告者】みっちー

【日時】2018年4月26日（木） 【天候】晴れ

【参加者】みっちー

《コースタイム》

7:17 博多駅=7:25 博多南駅 7:30~7:48 大徳寺~7:55 観音山 (132m) ~8:06 石割山~8:35 造成地 (ヤンバラ池) 8:47~11:30 牛頸山 (447m) 11:40~12:20 山神ダム方面林道 (間違い) ~12:45 縦走路戻り~12:50 黒金山への分岐 (沢コース or 分水嶺コース) ~分水嶺コース~13:11 黒金山 (405m) 13:20~13:29 山口越え分岐~13:43 大佐野山 (333m) ~14:44 天拝山 (258m) 14:50~15:04 武蔵寺~15:16 二日市温泉 (入浴後帰福)

《 報 告 》

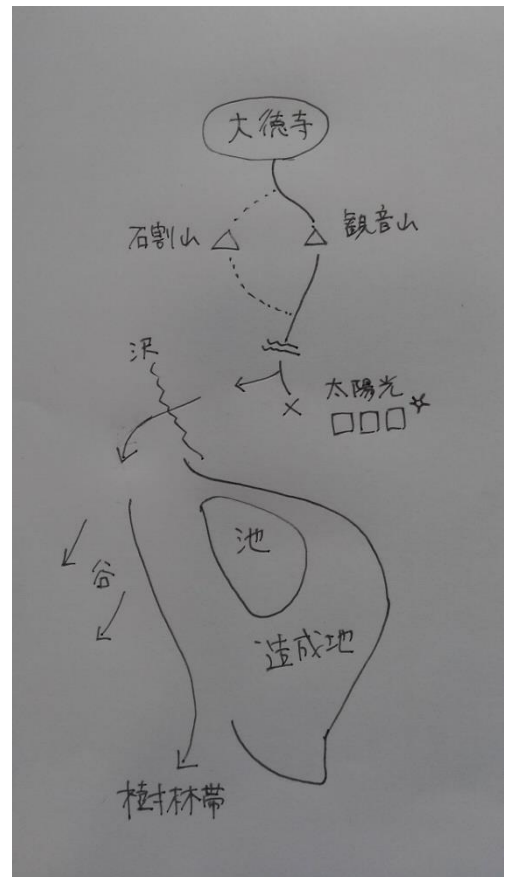
【登山三日前】平日休みがとれたので、YAMAP を眺めながら公共交通機関で行けて、歩いたことが無いルートを探す。「JR 博多南駅出発、観音山～牛頸山～天拝山を繋ぎ JR 二日市駅に下る」低山縦走ルートを発見。途中わかりにくい箇所があるようだが、コースタイムで8～9時間と歩きごたえあり、下山後二日市温泉にも入れるという（みっちー的に）ときめくルート。地図をダウンロードし、色々と妄想しながら計画書を作成（この時間が一番楽しい）、ピナクルに計画書を送信し就寝。

【登山前日】

翌日、低山のスペシャリストコータローさんからメールが届く。「…観音山から先、牛頸山までが一般的ではないルートです。基本ルート沿いに赤テープがあります。一時的に尾根を外したりピークを巻いたりしますが、しっかりテープを確認してください。ところどころに道標もありますが、なにもない分岐も多いです。ゴルフ場以降は、大野城市と那珂川町の境界線上をたどっていく形になりますので、コンパスGPS等でおおまかに方向を見ながら進んでもらえれば… (省略)」というありがたいメッセージと共に、手書き地図が添えられていました。前半の迷い易い地点を2ヶ所、手書きで解説付き。

(右の地図は、その一部を模写した画像です)

ダウンロードした地図と見比べ…正直どのあたりか (縮尺的に) 分かりませんが、現地に行けばわかるはずと。ジップロックに手書き地図を大切にしまい就寝。



【登山当日】

翌朝は天気予報どおり快晴。博多駅から新幹線に乗り、8分間で博多南駅に移動 (超便利!!)

7:30 博多南駅を出発、新幹線車両基地に沿って歩き7:48 大徳寺に到着。境内を通り裏山の階段を上っていくが、ちょうどツツジが見頃で癒される。(この後、このルートで花に出会うことは無かった)

7:55 観音山頂。道標が見当たらないが、先ほど歩いてきた街並みを見下ろすことが出来る。先が長い

ので、石割山を目指す、道もしっかりして歩き易い。道標に沿って8:06石割山到着。ベンチがあり見晴らしも良い。駅に近くお手軽で地元の方に親しまれている印象を受けた。

さて、ここからが本番。この後は一般登山道では無いので、気合を入れる。地図を確認しながら縦走路に向け戻るが、いきなり観音山側に戻りすぎてしまい右往左往。「至ヤンバラ池」の道標に沿って進むのが正解だった。眼下に太陽光のパネルが見える。コータローさん地図の付近に到達したようだ。赤テープに沿って、沢を渡り樹林帯を登る。特に道標はないがGPSで現在地を確認しながら、慎重に進む。登りつめると造成地と池の淵に出た。ここからテープはない。正にコータローさん地図上だ。YAMAPの地図を見ると、谷川に下りるルートが示される。見下ろすと荒れた旧道らしきものが、悩んだすえ谷を下ってみる。5分ほど下り行き詰る。また池の淵まで戻る。テープは見当たらないし、YAMAPルートから外れるが、淵沿いに行ってみるしかないので、池の横をとおり正面右手の樹林帯を目指してみる。「あったー！！白いテープ発見。コータローさんありました〜。」と小躍りしながら樹林帯に入る。

右の写真が迷ったヤンバラ池(?)付近。

正解が分かれば、手書き地図のとおりだなと思いますが、やはりちょっと迷ってしまいました(汗)

この後はひたすらテープに沿って黙々と山中を進む。小さなピークや斜面を何度も登り下り…。基本テープがありますが、分岐等に道標が無いので地図とGPSを常に確認しながら赤テープを追って歩く。九州CC春日原を通り過ぎ、大野城市と那珂川町の境界線上に出ると、尾根上で歩き易い縦走路になる。9:30頃250mピークの手前で今日初めての小休止。おにぎりを食べながら、難所を乗り切った喜びに浸るが、その後低山の本当の厳しさに直面する。



9:45一度舗道にでたが、直ぐに山中に入る。テープはあるがやや荒れてわかりにくい道がしばらく続いた。再び境界線上に戻り、福岡中央霊園が見え始め、縦走路を順調に進んでいることに安堵する。

10分ほど歩き現在地を確認する為、携帯をチェックするも福岡中央霊園から現在地点動いていない。何度か電源を再起動し、試すが一向に現在地点を表示しない。仕方ないので、地図と赤テープ、周囲の風景や地形を確認しながら進む。陸上自衛隊射撃場から隊員の声や大砲の音が響き、縦走路からそれていない確信はあるが、現在地点が分からないことでかなり不安な気持ちで進むことになった。

11:30牛頸山に到着。予定より30分早く着いた。不安から足早になっていたのだろうか？ようやく現在地が分かったことから、安堵して景色を眺める余裕が出来た。整備されとても良い山頂だ。一人ベンチで昼食をとっていると、GPS機能が復活。ここからは一般登山道だと思うがやはり心強い。

11:40牛頸山を後に黒金山を目指す。歩きだしてすぐ、また携帯の現在地が止まっていることを知る。不安がよぎるがどうしようも無いので、「黒金山・山神ダム方面」の道標に沿ってそのまま進む。縦走路に出て境界線上を歩く、赤テープに沿って尾根を下っていると急斜面になり、伐採地に下りそうになる。間違いに気づき引き返す、登り上がると、別の尾根にも赤テープがあったので、そちらに進む。一般登山道のはずが分かりにくい。テープに導かれ進むと「山神ダム⇔牛頸山縦走路」の標識があり、道はあっているようだ。地図上では縦走路沿いに鉄塔があるが、実際に見える鉄塔はかなり遠いうえに地図と方角が合わず、自分が縦走路のどのあたりにいるかわからない。道はあっているはずと考え、とにかくテープを追って20分ほど進むと、なんと林道に出てしまう。「山神ダム方面」の道標がある。黒金

山に向かいたいのに、なぜか林道に出てしまった。どこで間違っただかわからないが、黒金山への分岐を見逃したようだ。地図を見直すが自分が林道のどのあたりに出たのか？周囲見回すがヒントも、なく、新しいテープもない。仕方なく来た道を引き返す。12:40「山神ダム⇄牛頸山」の標識まで戻る。引き返す途中に分岐や新たな道標は無かった。まだ13時前、時間もあるから焦る必要はないと自分に言い聞かせる。進むべき道が見つからないので、とりあえず牛頸山に戻りながら、他に分岐がないか探し、万一見つからない場合は、牛頸山から牛頸ダム方面に下山することを決める。この辺りで迷った時間は30分前後だったが、もっと長く感じられた。

「ここで敗退しエスケープするのは嫌だなあ…」と考えながら歩きだし3~4分後、牛頸山側から初老の男性が下って来られた。今日初めての登山者と出会い、私はすかさず話しかけた。「こんにちは！！今日はこの後どちらに向かわれますか？」「黒金山ですが…」と男性。地獄に仏とはこのことである。良かった、本当に良かった。私は心の中で何度もガッツポーズをした。「黒金山に向かうつもりが、山神ダムに向かう林道に出てしまった」とお伝えすると。男性は首をかしげられ、私が来た道を進まれる。1~2分もすると分岐に出て、そこから左に曲がられる。道標も何もない。「さっき右に進みました」と伝えると、「はい。あちらは山神ダムです。以前はこの分岐に道標があったんですがねえ…」と男性。「なぜ道標を無くしたんだ〜！！」と心の中で叫ぶ。また4~5分歩くと道標の無い分岐があり、そこでも左折した。「右折すると同じく林道に出ます」と男性。「ここは迷路か〜。どこが一般道??」と心の中で叫ぶ。仏様（もしくはコータローさんが）遣わしてくださった男性のお陰で、無事黒金山に向かう路に合流、その後は道標がしっかりある一般登山道であった。黒金山に向かうルートは「絶品沢コースと分水嶺コース」があるが、私の気疲れした様子を見て「分水嶺コース」を勧めて下さった。アップダウンが少ないうえ歩き易いルートであった。



黒金山の直下で男性と分かれ、13:11 山頂に到着。これ以降、天拝山に向かう登山道では、複数の登山者とすれ違うことも増え、人々に親しまれているルートであることが分かる。整備された九州自然遊歩道を通り、14:44 天拝山に到着。山頂で写真を撮っていると、GPSが復活。現在地点を示している…今更遅いけど…。

お守り（コータローさん地図）と親切な男性のお陰でなんとか辿り着いたが、読図力・メンタル力が試される手強いルートであった。

こうやってディープな低山にハマる登山者が増えるのだろうか？

下山後、二日市に下りたみっちーが、コータローさん宅方面に向かい手を合わせたことは言うまでもありません。

←「牛頸山山頂からみる景色」